

年忘れ&初釣りは

★早朝の好時に1キロオーバー



★軟調竿でマダイの引きをいなす

▶相模湾の船上から日本の山を望む



▲大ダイや青物に備えてドラッグ調整を忘れずに

三浦半島葉山芝崎出船 鎌倉沖の深場攻めで上昇気配 年末年始は相模湾のコマセダイ

撮影◎鈴木良和



▲45センチのアマダイも登場



▲目下の釣り場は鎌倉沖の水深90~100メートル前後

▶コマセカゴはオモリ80号のLサイズ、ハリス4号8メートルが基準

◀ラストの流して釣れたうれしい1枚



▲ワラサは4~5キロ級がアベレージ



年末年始はやっぱりマダイ！というファンにおすすぬめたい釣り場の一つが相模湾。夏のキハダシーズンを除いてはほぼ周年コマセダイで出船する三浦半島葉山芝崎港の福栄丸は、鎌倉沖90メートルダチの深場を中心に狙い、良日は1キロ級主体に3~5キロ級の大ダイを交えてトップで4枚前後釣れている。

取材日は急な水温低下と極端な澄み潮に見舞われ本命は食い渋ったものの、4~5キロ級のワラサや良型アマダイが登場してにぎやかな一日を過ごせた。「いい反応が出てますから、冷たい潮に慣れればまたマダイも釣れだしますよ」と船長。

大ダイも想定し、準備万端整えて釣行していただきたい。
(詳細は54ページ参照)



◎三浦半島葉山芝崎港・福栄丸
矢島 雄三船長